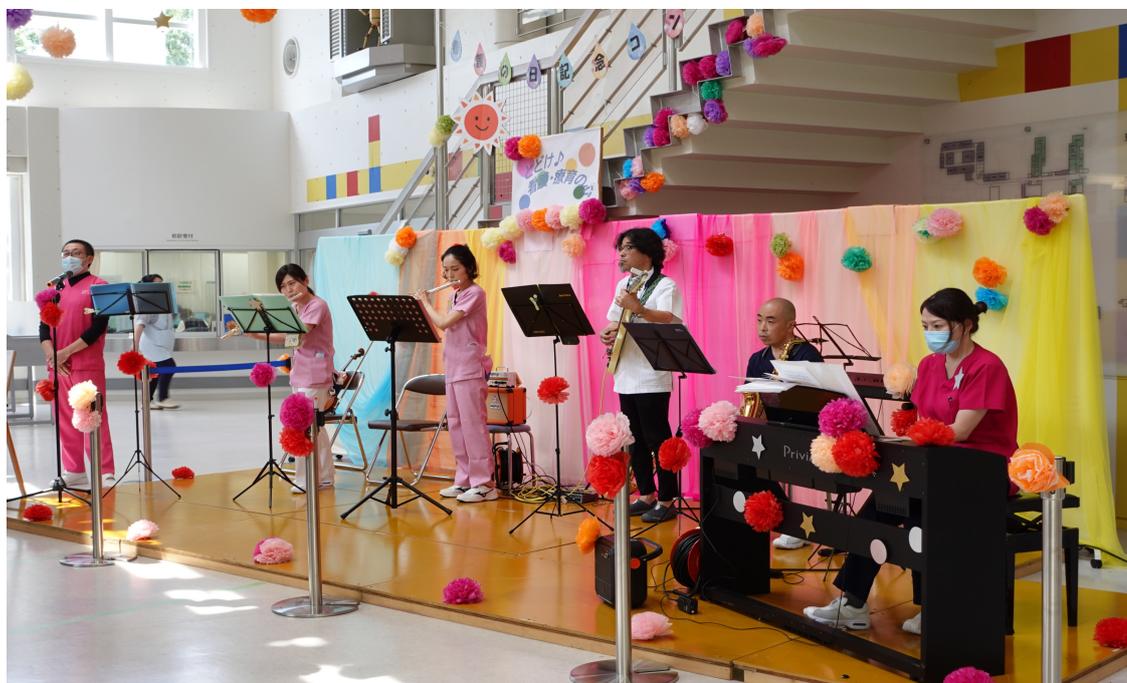




- 1 看護の日
- 2 第三者評価結果報告
- 3 第3病棟「センター院外活動」
リハ科「ダンスパーティー2024」
- 4 MY WORLD
人事異動

令和6年度 看護の日

看護の日実行委員会リーダー 第4病棟 看護主任 矢崎千草



去る、6月12日水曜日。「看護の日」のイベントのひとつである「届け! 看護・療育の心! 演奏会」が開催されました。このイベントを通し、「看護をより身近に感じていただこう。」という催しです。演奏会の告知も兼ね、事前に「看護の日」というテーマのリーフレットも配布しました。

いよいよ迎えた演奏会当日。お天気は快晴。晴れた空の光がエントランスにキラキラと降りそそぎます。会場いっぱいの来場者が、待ちきれず期待の視線を舞台に送ります。「こんな光景はいつぶりでしょう…。」さあ、演奏会のはじまりです! 少しでも緊張した面持ちのパフォーマーが舞台に立ちます。「あれ?」よく見るとみんなどこかで見たことがある顔ではないですか。そうです。当センターの職員たちです。ひとつ呼吸をし、ゆっくりと楽器を構えると…。「あっ、この曲は…!」1曲目は「さんぽ」、2曲目は「上を向いて歩こう」、3曲目は「星に願いを」、4曲目は「花は咲く」。明るく元気な曲でスタートです。リズムに合わせたテンポのよい手拍子。自然と身体も動きます。おなじみの曲はみんなと一緒に口ずさみました。そして、しっとりとしたフルートの音色に聴き入りながら、星に願いをかけ、最後には素敵な花を咲かせます。本当に素晴らしい演奏会でした。

ただひとえに、利用者さんにご家族の笑顔のためにと準備をしてきたスタッフのがんばりと、参加された利用者さんにご家族の楽しそうなお姿を拝見したときは、つい目頭が熱くなりました。全米が泣いた! もとい、東大和療育センターが沸いた! そこにいたみんなの笑顔があふれた! やっぱり東大和療育センターはこうでなくっちゃ!!



令和6年度 東京都福祉サービス第三者評価報告



1 評価機関名 特定非営利活動法人 日本ライフサポーター協会

2 評価結果の概要

(1) 医療型障害児入所施設(旧重症心身障害児施設)長期入所

①特に良いと思う点

- ・ベッド等からの転落、輸血ライン等の自己抜去を防ぐため行動制限を行うが、リスクが少ない利用者には身体拘束のない状態を目指している。
- ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の学習を深め、利用者やその家族の気持ちを理解し、医療や療育に反映したいと考えている。
- ・終末期においては、長期入所者が多い特性を踏まえながら、共に過ごした時間を大切に想い職員全体で最期の時間を共有している。

②さらなる改善が望まれる点

- ・利用者・職員・地域住民が一体となって運営する「東大和フェスタ」の再開に期待したい。
- ・利用者の多様化したニーズに応えるよう、院外活動の再開と更なる充実に期待したい。
- ・面会に来られない親のために、写真を添えた個別の便りで利用者の現在の状況を伝えることを望みたい。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・看護部はBSC(バランス・スコアカード)を活用し、目標の達成度を数値で表している。
- ・栄養科と連携して特別食を提供するなど、利用者一人ひとりの誕生日を大切にしている。
- ・ボランティアの活動の再開を機に、新たなボランティアの開拓などに取り組んでいる。

(2) 生活介護(主たる利用者が重症心身障害者)通所

①特に良いと思う点

- ・医療機器や持ち込みの物品については、点検簿で確認し忘れ物が無いよう細心の注意を払い、適切な管理を行っている。
- ・センターは外来診療や短期入所・医療入院等の在宅支援機能を備えて、医療的ケアを必要とする利用者が安心して通所できる環境を整えている。
- ・行事やゲームを楽しむ利用者の様子を、多くの写真を掲載して生き生きと伝わるような通所だより「SEE YOU!」を作成している。

②さらなる改善が望まれる点

- ・地域の人々を巻き込んだ「東大和フェスタ」の再開を期待したい。
- ・ボランティア活動の再開を機に通所ボランティアの活動メニューを明確にして新たなボランティアを活用するよう期待したい。
- ・利用者の外出ニーズに対応し、敷地内の散歩を手始めに院外活動を再開し更なる充実に図るよう期待したい。

③センターが特に力を入れている取り組み

- ・感染予防対策委員会が感染状況を見ながら、一人の通所利用日数を週3日までに拡大した。
- ・重症児・者の親や家族からの意見、要望を広く聞き、速やかに対応する体制を整えている。
- ・感染予防策を緩和し、直接会話する機会を増やしなが家族との信頼関係を築いている。



2024年 第3病棟のセンター院外活動



第3病棟 看護師 佐藤美砂子



センター院外活動でウエストランドファームへ行ってきました。道中のバスの中では音楽を聴きながら、ドライブを楽しみました。ウエストランドファームに着くととても良い天気で、日差しが強く、日よけの屋根の下で利用者さんと一緒に選んだジェラートと飲み物を頂きました。ジェラートはダブルとシングルを注文して二人でシェアをしてイチゴミルク、ラズベリー、パイナップルの3つの味を楽しみました。3つの味の中で1番人気はパイナップルのようで笑顔で食べていらっしゃいました。ラズベリー

はすっぱそうでした。食べた後は、牛の置物の前で写真を撮りました。山羊がいたので見に行きました。ジェラートの元になる牛乳を出してくれる牛が沢山いる所を遠目でしたが見る事ができました。普段と違う経験ができ笑顔が見られとても楽しそうでした。



♪ ダンスパーティー2024 ♪



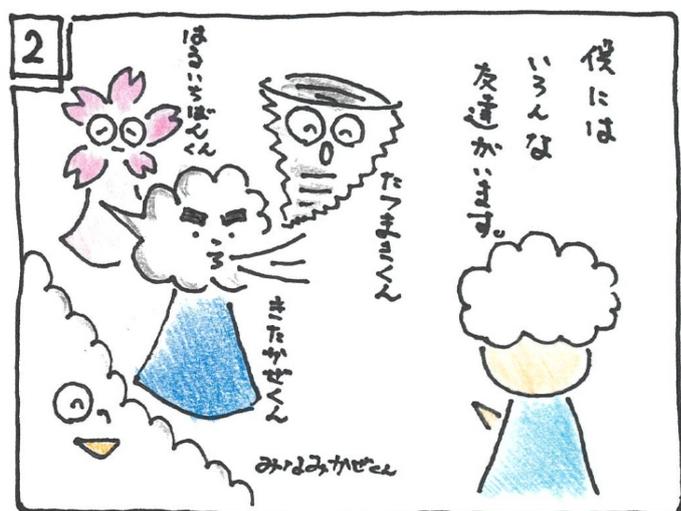
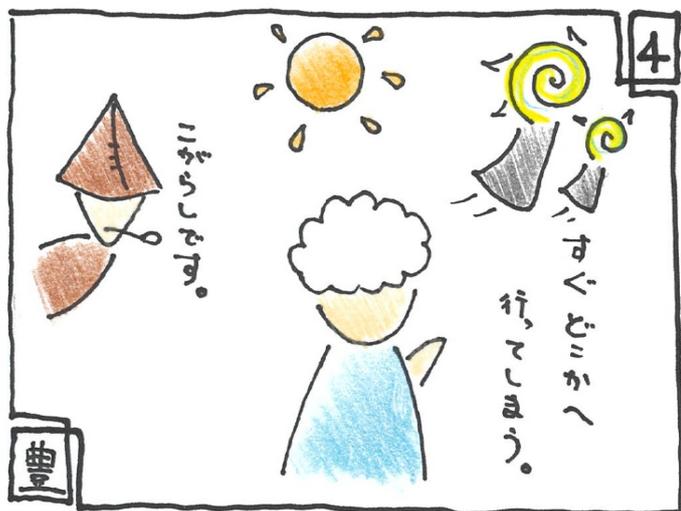
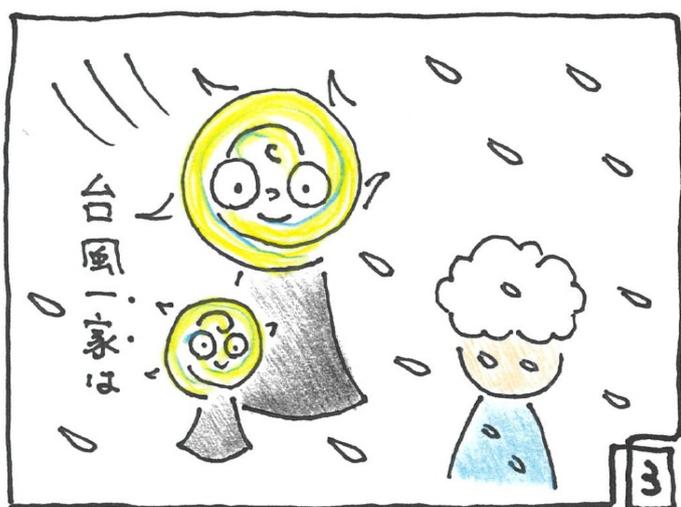
リハビリテーション科 言語聴覚士主任 荻原千恵



5年ぶりに、いつものダンスパーティーが戻ってきました!! まだ梅雨入りしていませんが大雨を吹き飛ばすように楽しく踊りました。最初は“WAになって踊ろう”の音楽に乗って、参加者皆さんで輪になって前後に揺れて踊りました。続いては星グループの皆さんによる、魂を揺さぶるロックです。メンバーが一列に並び、やや時間をずらしながら手を回して波を表現しました。サラダグループの皆さんは、“走れジョリイ”という曲で踊りました。この曲のイントロは、“チョコちゃんに叱られる”のオープニングで使われている曲なんです。よ。海組では、情熱的なタンゴを踊りました。カスタネットの早打ちが凄いと、グループ見学をした病棟実習

生から評判でした。カルチャークラブのメンバーによるダンスは、それぞれの希望が叶いました。他利用者さんを招待してペアでワルツを踊る人、映画の主題歌で踊る人、最後は王様と王女様が登場し、まるで舞踏会のように…。本当に多様でした。ロック、クラシック、タンゴ、映画の主題歌、とバラエティー豊かな内容でした。来年もどうぞお楽しみに!

MY WORLD



編集後記

暑い日が続いていますが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。私は今年の4月に東京に来ましたが、今までは東北地方に住んでいたため、朝からすでに暑いことにびっくりしています。引っ越しするまでは「東京は怖いところなのかな」と身構えていましたが、温かい方々に恵まれ、こちらでの生活にも慣れてきたように感じます。これからのまた新しい出会いが楽しみです!(K・Y)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第113号

編集 院内報そよ風編集委員会

発行日 令和6年7月31日

発行 東京都立東大和療育センター

東京都東大和市桜が丘3-44-10

Tel 042-567-0222